

2026 年 7 月 13 日

各関係機関の長 殿

国立大学法人東北大学
大学院国際文化研究科長 劉 庭秀
(公印省略)

教員の公募について (依頼)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本研究科では、国際文化研究専攻多文化共生論講座の教員を下記により公募することになりました。

つきましては、ご多用中のところ誠に恐縮ですが、貴職関係方面へ周知方よろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職種・人員 准教授又は講師 1 名
2. 専門分野 美学・芸術論、比較思想 (宗教)、比較文化に関わる分野
3. 担当科目 講座関連の大学院授業科目 (講義及び演習等)
グローバル共生社会研究系の系共通科目 (「共生社会論」)
全学教育科目 (外国語科目または人文社会科学科目等)
4. 応募資格
 - (1) 本研究科において、教育・研究に従事する資格があると認められる者で、博士の学位をもち、准教授にあつては大学における准教授、講師、助教又は助手としての教育経験年数 3 年以上であること、講師にあつては大学における講師、助教又は助手としての教育経験年数 1 年以上であることを要する。ただし、他の条件において特に優れている場合にあっては上記の年数を短縮することができる。
 - (2) 専門分野は、美学・芸術論、比較思想 (宗教)、比較文化に関わる分野とし、これらの領域において十分な実績があると認められる者であること。当該分野において日本国内外の研究者との連携、特に国際共同研究の経験があるか、もしくは今後取り組むことが可能な者であること。
 - (3) 本研究科多文化共生論講座の講師、准教授として、大学院授業科目および本研究科の関連業務を担当できる者であること。また、英語による大学院国際教育プログラム「グローバルガバナンスと持続可能な開発プログラム (G2SD)」に参画できること。
 - (4) 本大学の全学教育において、学部学生を対象とした授業科目 (外国語または人文社会系科目) を担当する。
 - (5) 国籍は問わないが、日本語及び英語で研究と教育に従事できる者であること。
5. 雇用形態
 - (1) 本人事によって採用された者には裁量労働制を適用する。
 - (2) 原則として本研究科が定めるテニユアトラック制度を適用する。
 - ・ テニユアトラック教員の任期は 4 年とし、テニユア付与に係る審査は、任期満了の 1 年前までに実施する。

- ・ 特に優れていると認められる場合は、テニユアトラック制によらず任期の定めのない採用とすることもある。
 - ・ その他、詳細については総務企画係へお問い合わせください。
6. 採用予定日 2027 年 4月 1日
7. 提出書類
- (1) 履歴書 1 部 (本学所定の様式、写真添付)
様式は研究科HPの「教員募集」ページからダウンロードしてください。
https://www.intcul.tohoku.ac.jp/ja/faculty_recruitment
- (2) 研究業績一覧表 1 部
著書、論文、研究ノート、学会予稿集論文、口頭発表、学位論文、その他等に分け、査読の有無を明記すること。掲載ジャーナルの Impact Factor・Cite Score を明記すること。また、Corresponding Author や FWCI Top 10% (Top 10%引用) 論文についても明記すること。
- (3) 研究業績のうち、主要な業績5点 (抜刷り、コピーでも可)。主要な業績5点については、研究業績一覧表に○印を付すとともに、自己評価に基づいて順位を付け、それぞれの要旨を日本語で1,000字程度にまとめ、添付すること。なお、選考中に研究業績の追加提出を求めることがある。
- (4) 次の2点について、日本語および英語の2か国語で作成した文書。分量は各テーマともに日・英それぞれA4版1枚程度 (総計4枚程度)。
①これまで行ってきた研究の概要と学術的意義及び今後の計画など。
②これまで従事してきた教育活動について、授業内容や学位論文の指導内容及び教育プログラムやカリキュラムの運営に関わる経験など。
- (5) 最近5年間における外部資金の応募(研究代表者のもののみ)および採択(研究代表者・分担者のものの)の状況について記述したもの。
- (6) 必要に応じて、ほかに資料の提出を求めることがある。
8. 応募締切 2026 年 9月 4日 (金) 17:00 (必着)
9. 選考方法 書類選考後、面接(模擬授業を含む)を実施する予定である。模擬授業は多文化共生論に関わる内容について日本語で30分程度で行い、その後、10分程度で講義の概要を英語でも説明する。面接に要する交通費は支給しない。
10. 書類提出先 【電子メール】
int-som*grp.tohoku.ac.jp (送信時には「*」を「@」に置き換えること)
* 提出書類一式をパスワードを設定した PDF ファイルにして (個別でもまとめてもどちらでもよい)、上記のメールアドレス宛てに送付すること。パスワードは、別途 電子メールで知らせること。
* メール の件名は「応募書類 (多文化共生論講座)」とすること。
* 受理通知を必ず確認のこと。なお、送信日から 2 日後 (土日祝日、その他休業日を除く) までに受理通知が届かない場合には、必ず電話で問い合わせをして、応募書類の着信の有無を確認すること。
* 応募書類は原則として返却しない。
11. 問合せ先 東北大学大学院国際文化研究科総務企画係
電話 022 (795) 7541
F A X 022 (795) 7583
電子メール int-som@grp.tohoku.ac.jp
東北大学大学院 国際文化研究科については、下記のウェブページをご参照ください。
<http://www.intcul.tohoku.ac.jp/>
12. その他

- ・ 東北大学は多様性、公正性、包摂性（Diversity, Equity & Inclusion : DEI）を向上させる活動を推進しており、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

東北大学 DEI 推進宣言 WEB ページ <https://dei.tohoku.ac.jp/vision/about/>

- ・ 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第 8 条に基づき女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。
- ・ 学生および教職員が学業・研究・職務の遂行において、多様な性を尊重する環境を実現することを目的として、その方針と具体的な対応の内容を示した「東北大学—みんなが主役—多様な性に関するガイドライン」を制定しています。

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ

https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for_minority/

- ・ 東北大学には全学教職員が利用できる川内けやき保育園（定員 22 名）及び青葉山みどり保育園（定員 116 名）の他、大学病院所属の職員等が利用できる星の子保育園（定員 120 名）があり、全国の国立大学の事業所内保育施設として最大規模の保育環境が整っています。また、大学病院内に軽症病児・病後児保育室もあり、全学教職員が利用できます。
- ・ その他、男性教職員の育児休業等促進策も含めた本学の両立支援、研究支援等の詳細及び共同参画の取組については、下記 URL をご覧ください。

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ

https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for_family/

人事企画部 WEB ページ

<https://c.bureau.tohoku.ac.jp/jinji-top/external/a-4-kosodate/>

- ・ 育児休業を取得する場合、教育研究の推進上必要と認めるときは、休業期間の範囲内で当該任期を延長することがあります。